

香川大学教職大学院

特別支援教室すばるを場とした通級による個別指導の実習

「特別支援教室すばる」とは

特別支援教室すばるは、平成15年4月に香川大学が国立大学としては全国に先駆けて設立した通級指導のモデル教室です。設立以来、香川県内の特別な教育的ニーズのある就学前児や小・中学校の通常の学級に在籍する児童生徒を対象として、指導・研究活動を行っています。具体的な事業として、①保護者・教員を対象とした教育相談事業、②学習や社会性について個に応じた指導を行う個別指導事業、③教職大学院の実習や長期研修生の受け入れ等の研修教育事業、④大学教員と附属学校園教員が協働して行う研究開発事業をしています。

特別支援力開発コースの『特別支援教育指導実習Ⅰ』

特別支援力開発コースの実習では、特別支援教室すばるを場として、特別な教育的ニーズのある児童生徒に対するアセスメントと個別指導を行っています。特別支援学級や通級指導教室において個の特性に応じた根拠に基づく教育指導のあり方について学び、特別な教育的ニーズのある児童生徒への個別指導を計画し実行することができる知識とスキルを獲得することを目指しています。この実習と連動して『心理検査の理論と実際』『個別の指導計画と個に応じた支援』など講義科目が設定されており、理論と実践の両側面から学びを深めることができます。

